

## SUN'IN Girlsから 中高生へのメッセージ



私が理系進路を選んだ理由は、理系科目が得意で、かつ好きだったからです。大学院では、植物が、ビタミンCを生体内で再生する機構の重要性について研究しています。解析に用いるのは、遺伝子を組み替えた植物です。特定の遺伝子をつぶすことでその植物にどのような影響が見られるかを分析することで、遺伝子の重要性や機能を解明することができます。卒業後は、食品や化粧品メーカーの研究開発職に就くことを目指しています。

理系はとても夢のある面白い分野だと思います。研究によって、すごいことが分かったり新しい技術を開発したりすれば、夢のようなものをつくったり、誰かの命を救うことができるかもしれません。ぜひ多くの人に理系分野に進んでもらい、たくさんの発明をしてほしいです。

島根大学大学院 自然科学研究科 修士 1年 濱田あかね

私は高校時代、ただ「カッコいい！」という理由で理系に進みました。理系科目が得意なわけでもなく、やりたいことが明確だったわけでもありません。でも、いざ入ってみたら、思っていた以上に自分の興味が見つかりました。おかげで今は楽しく植物の研究をしています。苦手意識で自ら遠ざけてしまうと、その良さには気づきにくいです。自分の興味があることや苦手なものを別の角度で見してみると、新しい道が見えてくるかもしれません。大切なのは今を楽しむことです！辛いことがあっても、無理なく、休憩しながら取り組んでいってください。



島根大学大学院 自然科学研究科 修士 1年 石橋 可菜

私は高校生の頃、生物科目が好きで理系進路を選択しました。進路選択時にはまだ将来何をしたいかという明確な目標はありませんでしたが、学んでいく中で、現在の研究テーマでもあるユーグレナについて研究したいと思うようになりました。所属している研究室では先輩後輩関係なく楽しく活動でき、専門性の高い技術に触れることができるため充実した生活をおくっています。また、自分の行った実験から新しいことを見出せる可能性がありとてもやりがいがあります。皆さんも理系で新しい発見をしてみませんか。

島根大学 生物資源科学部 生命科学科 4年 藏前 由衣